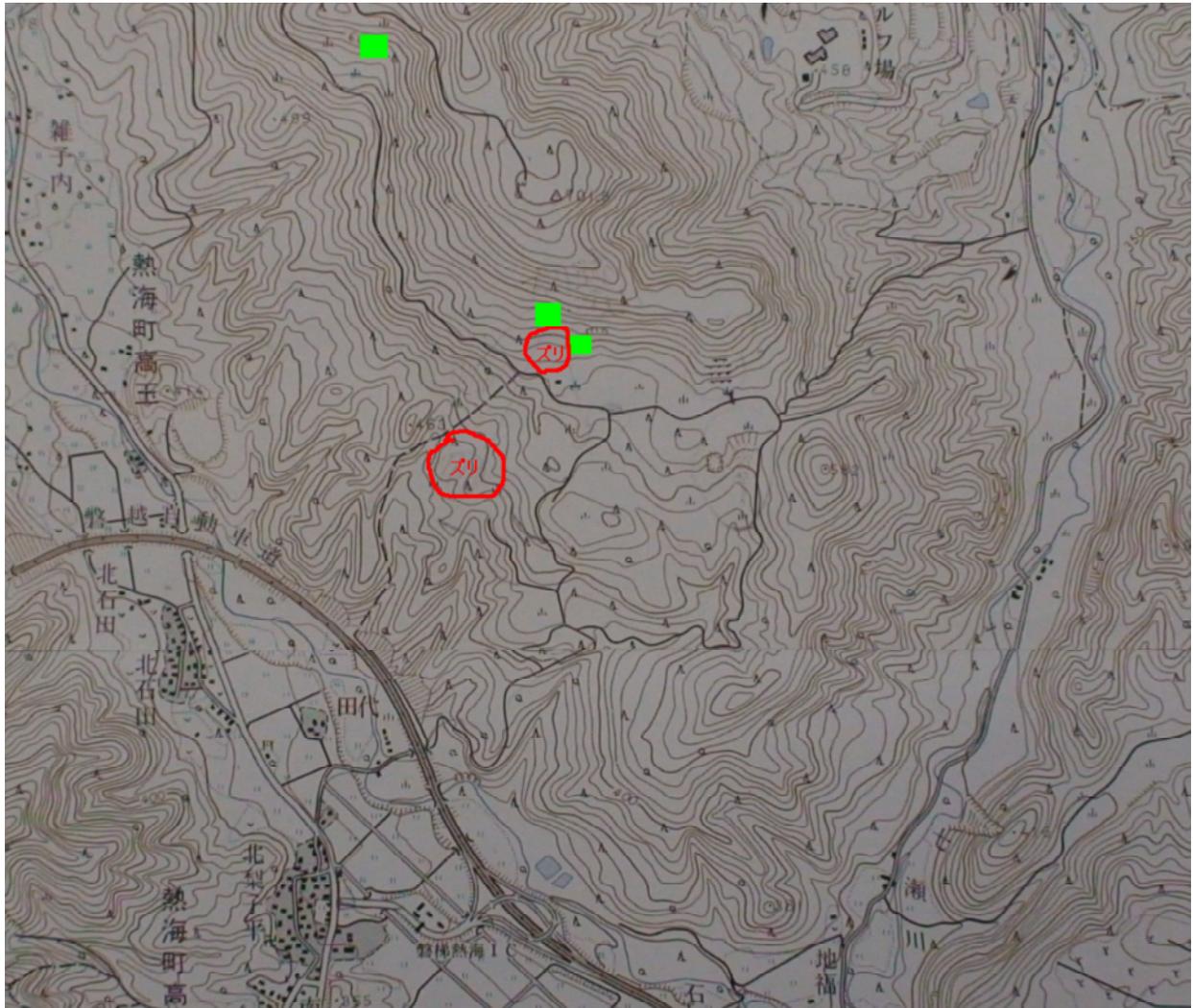


(28) 高玉(たかたま) 金山跡

磐越道を郡山から新潟に向かっていると、五百川PAがある。このPAの先約1kmの所の右側の山の付け根に、観光施設の「高玉金山」があり今でも営業をしている。この施設の背後の山中には縦横に坑道が掘られており、観光施設からトロッコで坑内見学ができる。ここが高玉金山跡であることは確かである。が、後掲している旧地形図を見ると、高玉金山は全く違うところである。現在の観光施設の付近にあった金山と区別するために、この箇所を旧高玉金山跡と呼称しよう。この旧高玉金山跡は高玉観光施設の北西2km~3kmの所の山中にある。今回は、この旧地形図を手引きに旧高玉金山跡を探查した。

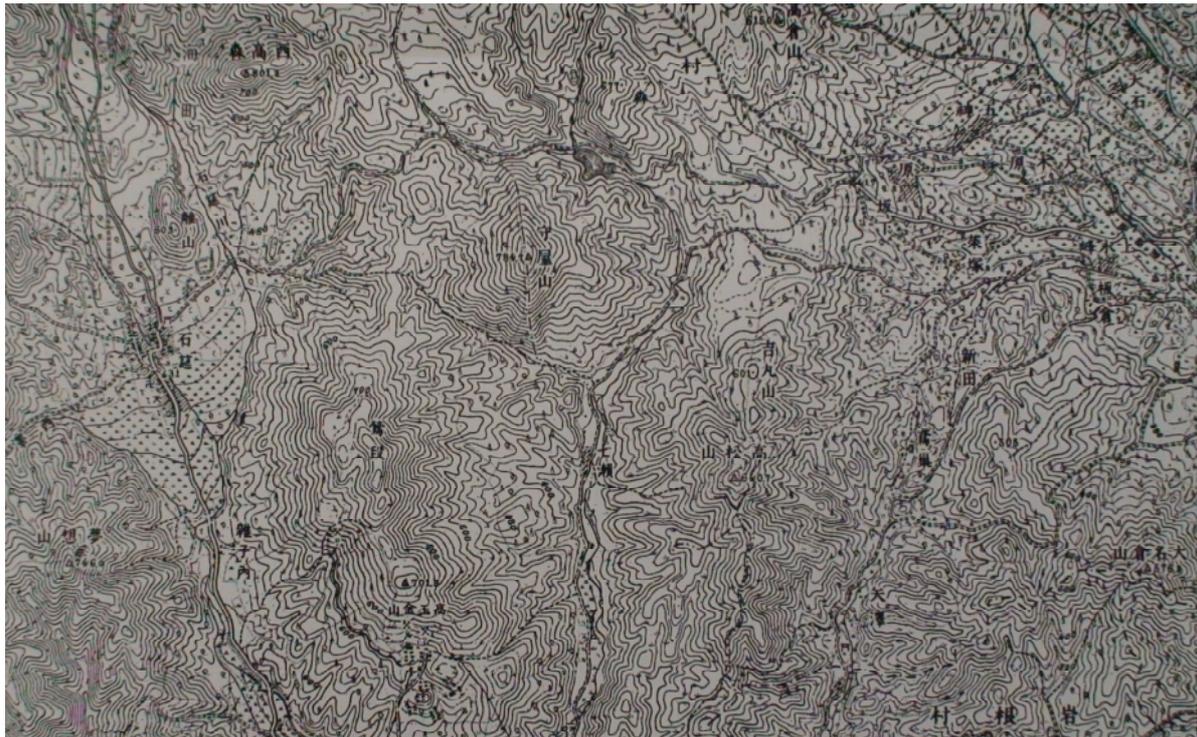
最新地形図中に、見つけたズリの跡と、旧地形図を参考として3箇所の鉱山記号の位置を書き入れている。今回は2箇所のズリの跡を見つけたが、草木最盛期であったため、坑口跡を見つけることはできなかった。草木の枯れた時期に再訪してみたい。

旧高玉金山跡への経路は次の通りである。磐越高速道を磐梯熱海ICで降りる。進んでいくと直ぐにT字路に突き当たる。ここを右折し、約200m進んだ当たりの右側に、細い側道がある。これに入っていく。道なりに進んでいく。高速道路の下を突き抜けると、左右が石材置き場になっている。ここから林道に入っていく。最新地形図中の黒線の林道である。入り口あたりは地形図通りのようであるが、先の方は分岐道があれこれあり、地図の林道とは異なっている箇所が多いようである。あちこち動き回り、2箇所でズリ跡を見つけた。共に見晴らしが良かったので、GPSで測地できた。そのデータをもとに地形図中にズリの跡を書き入れた。両方のズリとも車で行き着けた林道の傍にあった。ズリには石英が多くあり、金山跡らしい。が、肉眼で見えるような標本は易々とは見つからない。標本は何も採集しなかった。

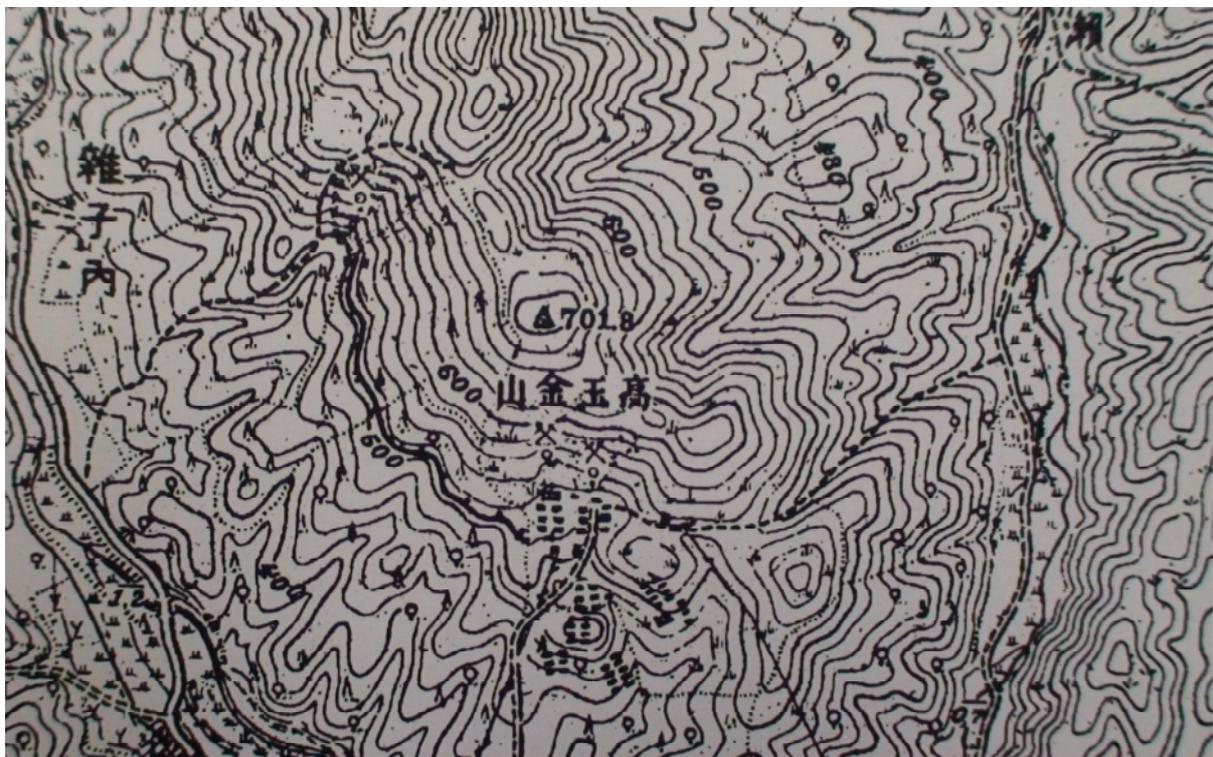


最新地形図 国土地理院2万5千分の1地形図「玉井」+「磐梯熱海」。赤線丸にズリと書いた箇所が、ズリの跡。これら他にズリ跡はあちこちにありそうである。黄緑四角は後掲している旧地形図中に記されている鉱山記号の位置。

探查日 2010年6月、その他の日



旧地形図 国土地理院 5 万分の 1 「二本松」 明治 4 1 年則図昭和 6 年修正同 2 8 年応急修正。
中央左下あたりに高玉金山の文字が見える。



上の旧地形図の高玉金山近傍の拡大図。高玉金山の文字は明瞭である。鉾山記号も 2 つある。
が、その左上の方にも鉾山記号がある。2 つの鉾山記号の下には、建物の記号が沢山整然と並んでいる。
活気のある鉾山であったことが伺える。

鉋山跡写真



ズリ1で。ズリの一部。広大なズリ跡のようである。



ズリ2で。ズリ跡のようであるのだが、現場の状況からすると、現在採石をしているようにも見えるが。

採集鉋物写真

最終標本は無し。拡大鏡で見える物では無く、やはり肉眼で見える金鉋石標本がほしい。次回以降を期待しよう。